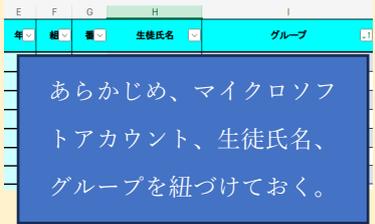
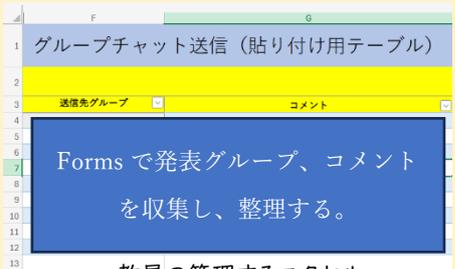


事例名			
グループチャットを用いた探究活動の発表会等における発表班へのコメントフィードバック			
校種・学年	高等学校・全学年		
教科・科目・単元・題材	総合的な探究の時間 など		
学校名〈任意〉	京都府立西舞鶴高等学校	事例報告者氏名〈任意〉	本藤 聡仁
機能名（アプリ名）	Teams、Forms、Power Automate		
ICT 活用のポイント			
<p>生徒による発表などの授業で、聴講している生徒から発表生徒へのコメントを集め、発表者へフィードバックする機会が増えている。</p> <p>本事例では、コメントの収集を Forms で行い、対象のグループのチャットグループを作成し、送信できるしくみを紹介する。ポイントは以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 生徒同士のチャットではなく、一度教員側で収集し、1つのまとまったテキストとして発表者（グループ全員）へ送信することが可能である。 ② 教員は誰が誰に向けて送信したコメントかを確認することも可能であり、不適切な使用の抑止力も備えている。 			
活用場面			
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がグループによる発表を行い、聴講者が Forms で発表者に対するコメントを送信する。 ・Forms は Teams のクラスチャンネル、タブ埋込。聴講者は対象のグループを選択し、コメントを入力する。 ・教員のチームでタブに埋め込まれたエクセルにコメントが集約される。（TEXTJOIN 関数を用いて連結） ・教員のチームで共有するワークフロー（Power Automate）の実行ボタンを押すと、生徒のグループチャットが作成され、そこにチャットでコメントが投稿される。 ・チャットはシステム（ワークフローという名前）から一度に送られてくる。 ・教員は聴講者の中のだれがコメントしたか把握が可能。（コメントの評価も可能） 			
 <p>教員の管理するエクセル</p>		 <p>教員の管理するエクセル</p>	
 <p>Power Automate のフロー</p>			
授業者のコメント・児童生徒の主な反応等			
<p>日常的に利用する場合は大幅な業務時間の短縮が図れる。しくみの理解や慣れるまでの操作の不安などがあるが、1学期に1回以上の発表がある場合は使用したほうがメリットがあるという意見を使用している先生からいただいた。</p> <p>生徒は返却されたフィードバックコメントから、自己の活動の振り返りを行うことができていた。</p>			